

伊豆網代・釣り船・ゆたか丸

伊豆網代港の「ゆたか丸」から釣りをするようになってもう25年にもなる。それ以前は各地の釣り船に乗って釣りをしていたが、網代に釣りに来るようになってからは他には行かなくなってしまった。なぜ他にいかなくなったといえば、伊豆は海と自然と温泉が良い、釣りにこだわる漁師の感覚が良い。代表的な名釣りについて3つ、季節ごとに簡単に紹介してみる。

春から夏の網代南沖のイサキ釣り

毎年3月下旬から8月はじめまで、網代南沖(初島、川奈、伊豆利島付近の海域)でイサキ釣りを楽しんでいる。イサキも大きく25cm~30cm位が多いし、30匹~70匹と釣れる数が他と比べ物にならない。人気のひとつと一緒に釣れる外道は、大きな真鯛、カンパチ、シマアジ、アオダイ、マハタなど大物が多いこともある。自然も、富士山はもちろんのこと、大島、天気の良い日には新島、式根島、神津島や煙の上がっている三宅島などが見えて素晴らしい。



秋のワラサ釣り

8月下旬から11月頃、もっと長い時には正月までワラサ釣りがある。場所は初島周辺、川奈、神子元島周辺があり、毎年いずれかの場所に魚群が来て賑わう。ワラサは出世魚といわれるブリの子供で、関東では成長するに従ってワカシ(ワカナゴ)、イナダ、ワラサ、ブリとなる。大きさは4~6Kg程度をワラサと言っている。釣れると引きも強く豪快である。釣れる時には15本、20本と釣れる事も珍しくないで釣り人には非常に人気がある。しかし、ワラサ(ブリ類)は非常に目は良いので、釣り糸を細くする程有利である。その為に糸の結び目は糸を二重にするなど十分に補強をしておくなどの工夫をして細いハリスで釣りをすることが重要である。

冬のヒラメ釣り

11月の声を聞くと、寒さもやって来るのでヒラメ釣りをしたくなる。常連の方々も、いつからヒラメ釣りに変えるんだらうねとささやいている。なぜかというヒラメ釣りは生餌で釣りをするから、船頭がヒラメの餌のイワシを仕入れないとできないからである。ヒラメ釣りは難しいとよく言われるが、基本的になる事柄を守れば釣れるしかしそれが一般には難しいのだろう。まず、餌を元気に泳がせるように針をつける。次にあたりがあったら最初のあたりでは引っ張らないで糸を繰り出す。緩めないようにして次のあたりを待つ。2回目のあたりがあったら大きく竿を引いて合せる。この時に確りと魚の口に針を掛ける。ここが一番難しいところだと思う。どうしても竿を上げて引っ張ってしまう。又、2回目のあたりがなかなかこないで、ヒラメがイワシを飲んでしまってから逃げようとしてあたりがでてくることもしばしばある。その場合には引き上げる途中で糸を切られてしまうことが多い。だから、あまり時間を置かずには2回目のあたりを確認するにはどうしたら良いかなど、経験と研究をすることが必要でもありヒラメ釣りの醍醐味でもある。



〒413-0102 静岡県熱海市下多賀410-22
TEL 0557-67-4288 FAX0557-67-4288
ゆたか丸

2001.1 津田沖彦